

【在宅医療】

C110-5 在宅舌下神経電気刺激指導管理料 810点（新設）

白本 P260 (368)

- (1) 在宅舌下神経電気刺激療法指導管理料は、舌下神経電気刺激装置を
植え込んだ閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者に対し、診察とともに使用
状況・治療効果を踏まえ、装置の状態について確認・調整等を行った上
で、当該治療に係る指導管理を行った場合に算定する。
- (2) プログラムの変更に係る費用は所定点数に含まれる。
- (3) 計測した指標と指導内容を診療録に添付又は記載すること。

【在宅医療】

C110-5 在宅舌下神経電気刺激指導管理料 810点（新設）

特掲診療料の施設基準（通知）P100

第16の8の2 舌下神経電気刺激療法指導管理料

1 舌下神経電気刺激療法指導管理料の施設基準

区分番号「D237」終夜睡眠ポリグラフィーの「3」1及び2以外の「イ」安全精度管理下で行うものの施設基準に準ずる。

2 届出に関する事項

区分番号「D237」終夜睡眠ポリグラフィーの「3」1及び2以外の「イ」安全精度管理下で行うものの届出を行っていただくと、舌下神経電気刺激療法指導管理料として特に地方厚生（支）局長に対して、届出を行う必要はないこと。

【在宅医療】

C110-5 在宅舌下神経電気刺激指導管理料 810点（新設）

指導管理料の算定には

植込みを実施した施設で（市販後調査に相当する）「単一（同一）施設にてPMS（市販後調査）に参加、院内職員がEDC（電子データ登録）でできる」、かつ「終夜睡眠ポリグラフィー（安全精度管理下で行うもの）の届出受理がされている、または届出準備中である」

以上の2点が必須となります。

これがないと指導管理料の算定できません。

実際にはプログラマがなければ適切な指導にはならないため、

「Inspire UASシステム医師用プログラマを購入・リース・5年レンタルし、常設できる」

「Inspire UASシステムの購入（製品登録）が可能である」

以上の2点についてもほぼ必須となります。

【在宅医療】

C112-2 在宅喉頭摘出患者指導管理料 900点（新設）

白本 P260 (368)

- (1) 「在宅における人工鼻材料の使用に関する指導管理」とは、喉頭摘出患者について、在宅において実施する人工鼻材料に関する指導管理のことをいう。
- (2) 在宅喉頭摘出患者指導管理料を算定している患者（入院中の患者を除く。）については、区分番号「J000」創傷処置（気管内ディスポーザブルカテテル交換を含む。）、区分番号「J001-7」爪甲除去（麻酔を要しないもの）、区分番号「J001-8」穿刺排膿後薬液注入、区分番号「J018」喀痰吸引及び区分番号「J018-3」干渉低周波去痰器による喀痰排出の費用は算定できない。